

お子さんにどう伝える？ エコチル調査のこと…

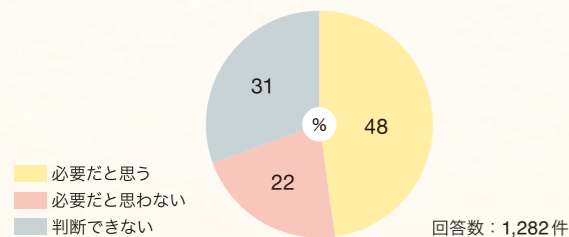
エコチル調査における参加者とのパートナーシップ構築へ向けた基礎調査より



お母さんの妊娠中から始まり、お子さんが13歳になるまで続くエコチル調査。今後は主役であるお子さんたちにも調査について知っていただき、前向きに参加していただきたいと考えています。エコチル調査コアセンターでは現在、お子さんたちに、いつ、どのようにエコチル調査のことについてお伝えすればよいのか、そのタイミングや内容について検討を重ねているところです。そこで、まずはお母さんやお父さんのご意見をお聞きしようと、平成28年2月から3月にかけてエコチルやまなし、千葉ユニットセンター、熊本大学サブユニットセンターの3か所でアンケートを実施しました。今回は、熊本大学サブユニットセンターにご参加いただいている皆さまからのご意見の中から、一部をご紹介します。

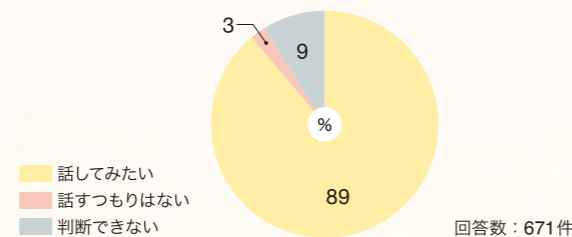
(構成割合は四捨五入しているため、その合計が100にならない場合があります)
※郵送数：2,741件 回答数：1,282件

Q1 お子さんにエコチル調査に参加していることを伝える必要があると思いますか？



約半数の方が「子どもにエコチル調査に参加していることを伝える必要がある」と回答され、その理由として「自分や自分の子ども達のために役立つことだと理解してほしいから」などがありました。一方、「必要だと思わない」と回答された方は約2割で、その理由として「子どもに説明しても理解できるかわからないから」などがありました。また、約9割の方が「自分から話してみたい」と回答され、その理由としては「親が参加したので責任を持って伝えたい」などがありました。

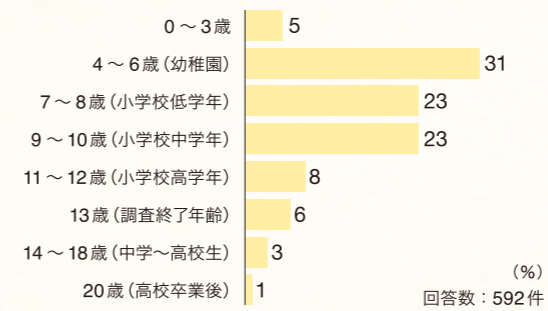
Q2 お子さんがエコチル調査に参加していることを、お母さん、お父さんご自身から話してみたいと思いますか？



お子さんにエコチル調査のことを「伝えることが必要」という方の理由の一部を右にご紹介します。

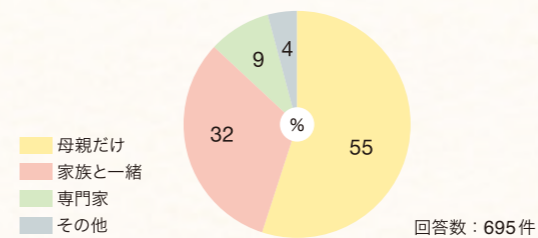
- 子どもといえども一人として社会に役立っているのを自覚させたいから。
- 子ども本人が理解できる年齢になれば同意が必要だと思うし、本人の考えも尊重されるべきだと思うので。
- 自分の育ってきた環境や自分自身の成長の過程が、将来の子どもたちのために役立つという事を伝えたいから。
- 子どもがエコチルに参加して世の中の事に興味を持ってほしい。そしてこれがずっと続いて未来の子どもたちのためになると頭の隅っこにおいてほしいから。

Q3 最初にお話しするのは、何歳ごろが良いですか？

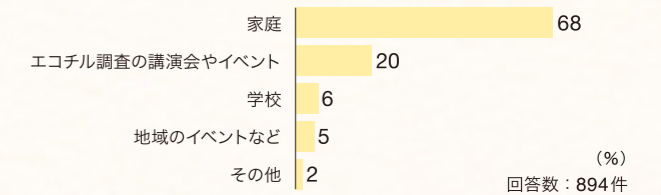


最初にお話しする年齢については、「幼稚園」と回答された方が最も多く、より早い時期を希望する傾向にあるようです。その理由として、「徐々に理解が出来る年頃だと思うから」が多くみられました。

Q4 誰から伝えるのが良いと思いますか？

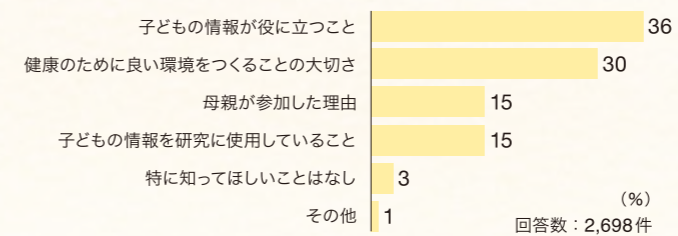


Q5 お子さんに伝えるのはどんな場所が良いですか？(複数回答可)



お子さんには「母親だけ」と「家族と一緒に」に伝えるのが良いと思われる方が合わせて約9割、その場所は「家庭」が約7割と、全体的にご家庭の中でお子さんにお伝えしたいと考えられていることがわかりました。

Q6 お子さんにどんなことを伝えたいですか？(複数回答可)



「子どもの情報が役に立つこと」を伝えたいという回答が最も多く、次いで「健康のために良い環境をつくることの大切さ」という回答が多くみられました。さらに、「子どもの情報を研究に提供していること」と回答される方もおり、そのことをお子さん自身にも知っておいてほしいと考えていることがわかりました。

- 自分のことを大切にしてほしいという願いから。
- 参加する時は親の判断ですが、話して理解できる年になれば、子どもの意見もきいたうえでエコチルと一緒に参加していく方がいいと思うから。
- 親だけの調査ではないから。

熊本大学では、数名のお母さん方にお集まりいただき、直接ご意見を聞かせていただくインタビュー調査を、人吉地域・水俣地域・天草地域で行いました。今後は、その結果についても皆さまにご報告していきたいと思っています。

